

令和2年度 ふじみ野市立大井西中学校 学校経営方針

1 はじめに

本校に着任して4年目を迎えました。振り返ればあっという間の3年間でした。3年間の学校経営を1サイクルと捉えれば、新たな1年と位置付けています。マナーや妙な慣れを戒め、新たな1年とする事を心に誓っています。

改めて本校が子どもたちや保護者や地域の皆さんそして教職員にとって毎日通うだけの価値のある学校であったかを自問自答しています。言い換えれば、教職員一人ひとりが生き生きと勤務し、人を大切にし、心を大切にした教育活動を意図的・計画的・組織的に行っていたかということです。そのために過去3年間、校長は何を考え、何をやってきたのかを問い続けています。

世の中は刻々と変化しています。コロナウイルスはまだ世の中全体を不安に陥れています。学校としての確固たる信念と同時に状況に合わせて柔軟に発想する学校経営が求められています。様々な意見や考えや評価に真摯に耳を傾け、課題の本質を見極めた上で冷静かつ的確に判断できる校長や教職員でなければなりません。学校は生徒のためにあります。教職員の生きがいや幸せの場であるべきです。決して校長の名誉のためだとか対外的なアピールの場であってはなりません。生徒を心から愛し、教職員をどこまでも信頼し、優しさと厳しさをミックスした視点から全ての教職員の持つ素晴らしい資質や能力を最大限発揮できる場を設けることがとても重要であると思っています。すなわち全ての教職員が気持ちよくそして自分らしく生徒や保護者や地域に愛情を注いでくれる学校づくりが校長に課せられた使命の一つだと考えます。そのために今年度も全力で取り組んでまいります。

「あいつは役に立たない」「あいつはやるのが遅い」「あいつには力がない」という言葉は好きではありません。そう責められた人にはそう責める人にはない別の良さがあります。究極の幸せとは、物事が自分の思い通りになることではありません。自分の存在が活きて、相手からも感謝され、お互いに支え合うところに幸せは生まれるものだと信じています。

世の中は知識基盤社会だと言われていています。しかし、知識や情報がすべてではないと捉えています。知識に頼りすぎた場合、人は己の無知や限界を理解できなくなります。その結果、人を知識の量で優劣を付けたり他者との協調や協力とは無縁になり、そしてその先には孤独が待っています。本校が教職員同士や生徒・保護者・地域の皆さんとの間で温かな信頼関係の輪がたくさん生まれ、誰もが良さを出し合いながら、縁あって出会ったすべての皆さんの力を結集して働き甲斐のある大井西中学校となるようにともに歩んでいきましょう。

2 学校教育目標

優しく 賢く 逞しく
～ 今が大切 ～

3 学校経営方針

(1) 校長の姿勢

バスケット女子日本リーグ荏原製作所の元ヘッドコーチ丸山健治さんの言葉を引用しました。「指導者」「部員」を「校長」「職員」と置き換えました。一流か三流かは別として自分を戒め、貫く姿勢とすることをお誓い致します。

- ①三流の校長はやる気のない職員をみるとイライラする。
一流の校長はやる気のない職員をみるとワクワクする。
- ②三流の校長は仕事が終わって疲れているときに疲れた顔をする。
一流の校長は仕事が終わって疲れているときに周りを元気にさせる。
- ③三流の校長は職員のいないところで職員の能力が低いと悪口を言う。
一流の校長は職員のいないところで職員のことを熱く語る。
- ④三流の校長は職場や職場の環境に愚痴を言う。
一流の校長は職場や職場の環境に感謝する。納得がいかないことがあれば、すべては自分次第と考え、環境を変革する。
- ⑤三流の校長は職員たちの夢を知らない。
一流の校長はすべての職員の夢を知り、職員の成長を本気で考え、夢を応援する。
- ⑥三流の校長は常にイライラして、職場の雰囲気悪くする。
一流の校長は常にワクワクして、職場のみんなをワクワクさせている。
頑張れば結果をつくることを知っている。
- ⑦三流の校長は職員に求めてばかりいる。
一流の校長は求めるのではなく与えている。魅力とは求めれば消え、与えれば生まれる。
- ⑧三流の校長は変化へのスピードが遅い。
一流の校長は変化のスピードが速い。情熱とはスピード。リーダーとは決断をして変化を起こす人。
- ⑨三流の校長はピンチに落ち込む。
一流の校長はピンチをチャンスに変える。問題が起きたことが問題ではない。問題をどう考えるかが問題だ。

(2) 本校の使命

子どもの命を守り、子ども・保護者・地域を幸せにできる地域協働学校として進んでいく大井西中学校

(3) 目指す学校像

時を守り・場を清め・礼を尽くす温かな大井西中学校

- ①誠実な学校 . . . 迅速な対応、一生懸命、人を大切
②笑顔のある学校 . . . 子どもが主役、安心安全、豊かな人間関係
③調和のある学校 . . . 学校と地域、組織と個人、学年と学級

(4) 目指す生徒像

- ①大井西中学校が大好きという思いで学校生活を送れる西中生
- ②あいさつが自然と言葉と態度でできる西中生
- ③自分がされて嬉しいことを他にもできる西中生
- ④目標に向かって努力する西中生

(5) 目指す教職員像

誠意 (sincerity) ・スピード (speed) ・笑顔 (smile)

- ① 大井西中学校の生徒に愛情をもって教育活動に専念する教職員
- ② 保護者や地域、業者や他校の教職員等に礼節を重んじる教職員
- ③ 自分がされて嬉しいことを人にもできる教職員
- ④ 仲間と協力して目標に向かって努力する教職員

(6) 目指す保護者像

- ①子どもが安心する温かな家庭生活の実現に力を尽くし、子どもの話に耳を傾けられる保護者
- ②規則正しい家庭生活や家庭学習を学校と協力して支援できる保護者

(7) 学校経営方針

急激な社会の変化に自ら進んで対応し、心豊かでたくましい人間を育成するために、本校を取り巻く様々な特性や生徒・保護者の実態を考慮しながら、全教職員の総意と知恵を結集して学校教育目標の具現化を図る。

子どもや教職員の心に情熱・意欲の炎を灯す学校経営

- ① 全教職員の総意（創意）を結集して、保護者や地域から信頼される学校づくりの推進
※信頼は小さな事でも丁寧かつ迅速に対応する中から生まれる。
- ② 生徒の思いや願いを知り、互いに助け合いながら、常に自分の夢や希望に挑戦する教職員の育成
※夢や希望を語る教職員には人を惹きつけるオーラがある。
- ③ 保護者や地域との絆を深め、その教育力を活用しながら、保護者や地域とともに歩む教育の推進
※保護者や地域からの信頼なくしては教育は成り立たない。
- ④ 授業・学級経営・部活動がそれぞれ密接に連携しながら、子どもたちの笑顔が溢れる知・徳・体のバランスの取れた教育の推進
※子どもが生きる場を組織的に提供してこそ学校が学校たる所以である。

4 本年度の重点・努力点

生徒・保護者・地域・教職員を大切にできる温かな西中学校づくり
～ 生徒・保護者・地域に人としての手本となる姿を示す ～

- (1) 授業の充実・・・「来年度の学習指導要領の実施を踏まえた授業の創造」
 - 子どもがわかった・できた・嬉しいと感じられる授業を行う。
 - 授業規律・望ましい学習態度の伴った授業を行う。
 - 話し合い活動の機会を増やす。
 - 職員室内での授業についての会話を増やす。
 - 積極的に授業を公開して評価の場を得る。

<取組指標>

- ☆家庭と協力して家庭学習の習慣化を定着させる。
- ☆昨年度の学力調査結果の課題を解消する指導を実施する。

- (2) **学級・学年経営の充実**・・・「綺麗な学級・学年に荒れた学級はない」
- いじめを許さない・見逃さない学級・学年づくりを推進する。
 - 学校・学年で統一した掲示教育を推進する。
 - 学級の様子を学級・学年通信等で保護者に積極的に発信する。
 - 朝や放課後での教室の見守りと綺麗な学級環境を推進する。
 - 無言清掃の充実を図る。

<取組指標>

- ☆すべての担任が毎日放課後、学級を見回り、学級の実態を掴む。
- ☆スクログ等で生徒の心に寄り添い、いじめや不登校生徒をつくらない。
- ☆掲示教育の充実を図る。不要になった掲示物は迅速に交換する。

- (3) **部活動の充実**・・・「やり遂げた満足感を得られる部活動を実現する」
- 命を大切にしたい子どもが安心して取り組める部活動を行う。
 - 子どもの活動を積極的に公開し、保護者と連携した部活動を行う。
 - 顧問同士が尊重し合い、協力して指導に当たる部活動を行う。

<取組指標>

- ☆活動方針に沿って部活動が展開され、安心安全に配慮した活動を行う。

- (4) **職員室環境の充実**・・・「誰もが働きやすい職場環境づくり」
- 管理職と教職員とが迅速かつ適時に的確な情報・指示の伝達を行う。
 - 机上の整理整頓を行い、生徒の見本となる職員室を創る。
 - 来客・電話・応対や職員室・印刷室等の整理整頓に努める。

<取組指標>

- ☆来客者（保護者・業者・他校の教職員等）への温かな心配りをする。
- ☆電話対応は誰もが行う。その際自分の名前を名乗る。

- (5) **安心安全の充実**・・・「安心安全に対する緊張感を持続・保持」
- 安全点検や見回り活動のマンネリ化の防止と具体的な改善策を示す。
 - 避難訓練や交通安全に関する取組を充実する。
 - 危機管理防止マニュアルを全教職員が熟知する。

☆教職員事故をゼロにする。

- ☆生徒の実態を把握し日常の見回りや点検活動を決して疎かにしない。

5 終わりに

4年目の大井西中学校経営方針と校長像を示しました。大切なことは教職員の皆さんの今と将来を真剣に考え、教職員や子どもや保護者や地域の声に真摯に耳を傾ける事だと思っています。そのために私は行動します。

教師としての姿勢

ふじみ野市立大井西中学校

山崎 祐一

- ① 三流の教師はやる気のない生徒をみるとイライラする。
一流の教師はやる気のない生徒をみるとワクワクする。
- ② 三流の教師は仕事が終わって疲れているときに疲れた顔をする。
一流の教師は仕事が終わって疲れているときに周りを元気にさせる。
- ③ 三流の教師は生徒のいないところで生徒の能力が低いと悪口を言う。
一流の教師は生徒のいないところで生徒のことを熱く語る。
- ④ 三流の教師は学級や学年の環境に愚痴を言う。
一流の教師は学級や学年の環境に感謝する。納得がいかないことがあれば、すべては自分次第と考え、学級や学年の環境を変革する。
- ⑤ 三流の教師は生徒たちの夢を知らない。
一流の教師はすべての生徒の夢を知り、生徒の成長を本気で考え、夢を応援する。
- ⑥ 三流の教師は常にイライラして、教室の雰囲気悪くする。
一流の教師は常にワクワクして、教室のみんなをワクワクさせている。
頑張れば結果をつくることを知っている。
- ⑦ 三流の教師は生徒に求めてばかりいる。
一流の教師は求めるのではなく与えている。魅力とは求めれば消え、与えれば生まれる。
- ⑧ 三流の教師は変化へのスピードが遅い。
一流の教師は変化のスピードが速い。情熱とはスピード。リーダーとは決断をして変化を起こす人。
- ⑨ 三流の教師はピンチに落ち込む。
一流の教師はピンチをチャンスに変える。問題が起きたことが問題ではない。問題をどう考えるかが問題だ。